



ポリネシア諸語の比較表現における方向詞

メタデータ	言語: jpn 出版者: 室蘭工業大学 公開日: 2008-01-17 キーワード (Ja): キーワード (En): Polynesian, directional, comparison 作成者: 塩谷, 亨 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10258/352

ポリネシア諸語の比較表現における方向詞

その他（別言語等） のタイトル	Directionals in Polynesian Comparative Expressions
著者	塩谷 亨
雑誌名	室蘭工業大学紀要
巻	57
ページ	17-24
発行年	2007
URL	http://hdl.handle.net/10258/352

ポリネシア諸語の比較表現における方向詞

塩谷亨*¹

Directionals in Polynesian Comparative Expressions

Toru SHIONOYA

(原稿受付日 平成19年5月23日 論文受理日 平成19年9月10日)

Abstract

Directionals are functional words which primarily express directions of the movement. Many Polynesian languages have four directionals, which basically means "towards the speaker", "away from the speaker", "upwards", and "downwards", respectively. The directionals are used to express directions, to show distance in time, to form comparative expressions, and so on. All the four directionals are used in comparative expressions in Hawaiian and Tahitian, as well as in Samoan. Two of them, meaning "towards the speaker" and "downwards" respectively, are used to express the comparison showing 'A is smaller (in amount, size, and so on) than B', while the other two directionals are used in various cases, including the comparison showing 'A is larger (in amount, size, and so on) than B'.

Keywords : Polynesian, Directional, Comparison

1 イントロダクション

1.1 ポリネシア諸語の四つの主要な方向詞

ポリネシア諸語は地理上のポリネシア(ハワイ諸島、ニュージーランド、イースター島を結ぶ三角形の内側)で話されている諸言語及びマイクロネシア、メラネシアの一部で話されているいわゆる域外ポリネシア(Outlier Polynesia)の諸言語から成るグループであり、同じ祖先から発した同系の言語である。広大な海域に散在しているにも関わらず、語彙的にとても似通っている。

ポリネシア諸語間の著しい類似性の一つの例が、今回取り上げる方向詞の存在である。方向詞とは

*共通講座

方向性の意味を添える限られた数の語からなる語類であり、ポリネシア諸語中に分布している。方向詞は動詞の後ろや、時には名詞の後に付加されて、動作などがどちらに向いているか、あるいは物体がどちらの方向に移動するか等の文字通りの方向性を表わす他、それに派生したいろいろな意味を表わす表現の中でも用いられる。方向詞は他の語類とは異なる独立した語類であり、動詞句内或いは名詞句内において、他の語類とは異なる位置に現れる。

言語によって、或いは先行研究における分類基準の違いによって、記述されている方向詞の数には若干の差異がある。しかしながら、それぞれ、基本的な意味として、「話者に近づく方向に」、「話者から離れる方向に」、「上方に」、「下方に」を表わ

す四つの主要な方向詞の存在については広い範囲で認められている。今回調べた 24 言語のうち、19 言語の先行研究において、これらの四つの主要な方向詞が記述されている。(1)

今回扱うのは、ポリネシア諸語に属する言語のうち、サモア・域外ポリネシア語群のサモア語、東部ポリネシア諸語・マルケサス語群のハワイ語、東部ポリネシア諸語・タヒチ語群のタヒチ語と、語群が異なる三つの言語である。表 1 がこれら三つの言語における四つの主要方向詞の形式の一覧である。

表1 四つの主要方向詞一覧

	基本的な意味			
	話者に近づく方向に	話者から離れる方向に	上方に	下方に
サモア語	mai	atu	a'e	ifo
タヒチ語				iho
ハワイ語		aku		

表 1 中で、「上方に」という意味の a'e は正書法によっては正門閉鎖音を示す記号を削除して、ae のように表記されることがあるが、以下の例文提示ではそれぞれの原典での正書法に従う。表 1 が示すように、これらの三言語において、四つの方向詞は、その基本的な意味も同じであり、しかも形態的にも同じか、非常に似通っている。尚、ハワイ語の子音 k と他の言語の t、ハワイ語及びタヒチ語の子音 h とサモア語の f の対応は、歴史比較言語学的にも広く認められている対応である(2)。

方向詞の基本的な意味は、文字通り、方向性である。例えば、ハワイ語の lele 「飛ぶ」という動詞の場合は、これに話者に向かう方向を表わす方向詞 mai を添えて lele mai とすると「話者又は話者の視点の方に向かって飛んで来る」という意味を表し、一方、話者から離れる方向を表わす方向詞 aku を添えて lele aku とすると「話者又は話者の視点から離れる方向へ飛んでいく」という意味を表す。また、下へと向かう方向を表わす方向詞 iho をつけて、lele iho とすると、「下方に飛ぶ(陸から水に飛び降りる場合など)」を表わし、また、上へと向かう方向を表わす方向詞 a'e をつけて lele a'e とすると「上方へ飛ぶ(空に向かって鳥が飛ぶ場合など)」を表わす。

方向詞の用法のうち、上記のような方向性という意味に関連する基本的な用法に次いで、最も頻繁に用いられるのは、時間的な距離(過去の遠近など)を示す用法である。これに関連して、Cook(3)がハワイ語の方向詞の時間的な用法を身体的経験

と関係付けて論じている。本稿では、方向性を表わす基本的な用法や時間的な距離を表わす用法には属さないその他の用法のうち、比較的使用頻度が高い比較表現での方向詞の用法について扱う。

1. 2 先行研究での記述

タヒチ語の四つの方向詞については、表 2 にまとめたように、mai, atu, a'e, iho の四つ全てが比較表現に用いられ、用法としては、mai、と iho が劣勢比較に、atu と a'e はそうでない場合、すなわち優等比較等に用いられると指摘されている。(4)

表2 タヒチ語の方向詞の用法

劣等比較	劣等比較以外
mai iho	atu a'e

劣等比較(le comparatif d'infériorité)という分類が用いられているが、実際には、例文(T1)のように、「より少ない、より小さい」という数量の相対的に少ない状態を表わす表現がその該当例として提示されているので、英語の less+形容詞・副詞、或いはフランス語の moins+形容詞・副詞のような劣等比較とは異なるものを指していると考えられる。

(T1) E iti mai 'o Mo'orea
 不定時制 小さい 方向詞 固有名詞 Mo'orea
 ia Tahiti.
 ~より Tahiti
 'モーレア島はタヒチ島より小さい'
 (Académie tahitienne(G):58)

一般的な意味での、優等比較、劣等比較との混同を避けるため、上記例文(T1)のようなものを含めて、A が数量的に(大きさ、多さ、高さ等に関して) B (他者) より少ない状態を表わす比較表現を以下、便宜上「A<B の比較」と呼ぶことにする。

タヒチ語以外のポリネシア諸語の先行研究を見てみると、サモア語では方向詞 atu が(5)(6)、ハワイ語では a'e が(7)それぞれ比較表現に用いられると指摘されているが、いずれも、他の残り三つの方向詞の使用についての言及はない。また、A<B の比較においての方向詞の使用について制限或いは傾向性のようなものがあるかどうかについても言及されていない。

1. 3 本稿の目的

本稿の目的は以下の三つを示すことである。

- i) タヒチ語、ハワイ語、サモア語の比較表現のうち、方向詞と関連するものの概要
- ii) タヒチ語では四つ全ての方向詞が比較表現に登場する。サモア語の atu 以外の三つの方向詞、及び、ハワイ語の a'e 以外の三つの方向詞が比

較表現に用いられるのか。

け入れる'

(大統領府 HP)

iii) タヒチ語の場合には A<B の比較で用いられる方向詞に制限がある。ハワイ語やサモア語については同様の制限、或いは傾向性のようなものはあるのか。

また、方向詞 a'e を付加して最上級(絶対最上級および相対最上級)として用いられることもあると指摘されている。⁽⁴⁾例文 (T4) は絶対最上級として用いられている表現の例である。

1. 4 分析データ

今回分析に用いたのは、辞書や文法書に含まれる例文、主に物語、歴史、伝説、神話などをまとめた出版物、及び政府・法律関係の出版物である。政府・法律関係の出版物には、インターネットで入手した出版物も含まれている。タヒチ語については、タヒチ大統領府 HP (今年発足した新政権ではなく、その前の旧政権、オスカー・テマル元大統領の時点のもの) のタヒチ語版から入手したタヒチ語テキストデータを含んでいる。また、サモア語については、サモア立法院の HP から入手した各種法令のサモア語テキストデータを含んでいる。

それぞれ例文を引用する際には、文献一覧、及び分析資料一覧の情報の最初の一語(姓名の場合は姓、文書名の場合は文書名の最初の単語)とページ番号を示した。ただし、Académie tahitienne による文献が二つあるので、Grammaire は Académie (G)、Dictionnaire は Académie (D) のように表示している。また、Beckwith による文献も二つあるため、The Hawaiian romance of Laieikawai は Laieikawai、Kepelino's tradition of Hawaii は Kepelino と表示している。

(T4) E fenua nehenehe hau a'e terā.
時制/相 土地 美しい 卓越する **方向詞** それ
 'それは極めて美しい土地だ'
 (Académie tahitienne(G):60)

2. 1. 2 方向詞のみによる比較表現

動詞 hau など、それ自体に比較の意味を含む単語を用いずに、方向詞が専ら比較の意味をになうような表現がタヒチ語では頻繁に用いられる、サモア語やハワイ語と比べても、方向詞のみによる比較表現の割合はタヒチ語が突出している。

Académie tahitienne が指摘しているように⁽⁴⁾、タヒチ語では四つの方向詞全てが比較表現に用いられる。中でも最も頻繁にみられるのは a'e である。単独の場合は比較級に相当するような意味を表わす。

(T5) E pūai a'e 'o Teri'ia
時制/相 強い **方向詞** 固有名詞 Teri'ia
 ia Tihoni
 ~よりも Tihoni
 'Teri'ia は Tihoni よりも強い.'
 (Académie tahitienne(G):54)

2 三つのポリネシア諸語の方向詞と比較表現

2. 1 タヒチ語の方向詞と比較表現

2. 1. 1 hau による比較表現

タヒチ語には比較を表わす表現が何通りかあるが、その一つに動詞 hau「卓越する」を用いた比較表現がある。hau を述語動詞として、例文 (T2) のように表わす。

(T2) E hau tōna 'aravihi i tō'u.
時制/相 卓越する 彼の 巧みさ ~より 私の
 '彼は私より巧みだ' (Académie tahitienne(G):54)

例文 (T2) のように hau 単独で用いることもあるが、hau の後には例文 (T3) のように方向詞 atu が付加されることもある。

(T3) ...e fa'ari'i o ia hau atu
時制/相 受ける それ 卓越する **方向詞**
 i te 7000 ratere i te
 ~より **冠詞** 旅行者 ~に **冠詞**
 matahiti ho'e.
 年 一
 'そこは一年に 7000 人よりも多い旅行者を受

また、roa「とても」と共に用いると、最上級「最も~な」に相当する意味を表わす。

(T6) 'O Moe te ta'ata faufa'a roa
述語 Moe **冠詞** 人 金持ちの とても
 a'e i roto iā rātou
方向詞 ~の中で 彼ら
 'Moe は彼らの中で一番金持ちだ.'
 (Académie tahitienne(G):60)

方向詞 atu は「更により~な」のような比較級で用いられると指摘されている。⁽⁴⁾

(T7) E māmarama a'e Hina i
時制/相 聡明な **方向詞** Hina ~よりも
 tāna tāne, e māmarama roa
 彼女の 夫 **時制/相** 聡明な とても
 atu rā tōna tu'āne
方向詞 しかし 彼女の 兄(弟)
 'Hina は彼女の夫よりも聡明だ、しかし、その兄(弟)は更により聡明だ.'
 (Académie tahitienne(D):76)

残る二つの方向詞、mai と iho については、iti と ペアで用いられると指摘されている。⁽⁴⁾

(T8) Ua iti iho te ua i teienei.
時制/相小さい**方向詞** **冠詞** 雨 今日
 '今雨が少なくなった'
 (Académie tahitienne(D):220)

(T9=T1) E iti mai 'o Mo'orea
時制/相小さい **方向詞** **固有名詞** Mo'orea
 ia Tahiti...
 ~より Tahiti
 'モーレア島はタヒチ島より小さい...'
 (Académie tahitienne(G):58)

尚、Académie tahitienne によれば⁽⁴⁾、A<B の比較には方向詞 *atu* や *a'e* は使われないとされている。しかしながら、今回得られたデータの中には、A<B の比較と考えられる例が存在する。例文 (T10) では *ha'ihā'i* 「小さい」に方向詞 *a'e* が付加されている。

(T10) o te ho'e iā o te fāito
述語 **冠詞** 一つ それ~の **冠詞** 寸法
ha'ihā'i roa a'e no te mau
 小さい とても **方向詞** ~の **冠詞** **複数**
 'Oire ato'a no Porinetia farāni nei.
 村 全て ~の ポリネシア 仏領 この
 'それはこの仏領ポリネシアの全ての村の最も小さいサイズのつだ。'(大統領府 HP)

2. 2 ハワイ語の方向詞と比較表現

2. 2. 1 'oi による比較表現

タヒチ語の *hau* を用いた比較表現に相当するハワイ語の表現は動詞 *'oi* 「秀でている」(正書法によっては *oi* と表記される) を用いた表現である。これがハワイ語における比較表現の中で最も頻繁に用いられるものである。ほとんどの場合、例文 (H1) のように、方向詞 *aku* と共に用いられるが、例文 (H2) のように方向詞 *a'e* を伴う場合、例文 (H3) のように方向詞を伴わないこともある。

(H1) Elua wale no lio i oi
 2 だけ **強調** 動物 **時制/相** 秀でている
aku ka nui mamua o ka
方向詞 **冠詞** 大きい ~の前に **冠詞**
hipopotamu, ...
 カバ
 'カバよりも大きい動物は二つしかない。'
 (Mookini:15)

(H2) he haneri a oi ae
冠詞 百 そして 秀でている **方向詞**
ka nui o na makahiki o kona
冠詞 数 ~の **冠詞** 年 ~の それの
ola ana...
 生きる **名詞**
 'その生きた年数は百年以上だ...'
 (Kuokoa 1863/7/24)

(H3) ka oi loa o kona
冠詞 秀でている とても ~の 彼女の
maikai mamua o ka'u mau wahine
 美しい ~の前に ~の 私の **複数** 女性
mua nana i kumakaia
 前の **関係** **時制/相** 欺く
 '私を欺いた前の女性たちよりも彼女が美しいこと'
 (Laieikawai: 381)

2. 2. 2 方向詞のみによる比較表現

タヒチ語と同様に、それ自体に比較の意味を含む単語を用いずに、方向詞が専ら比較の意味になうような表現はハワイ語にもある。Elbert and Pukui は⁽⁷⁾、例文 (H4) のように、比較級に相当する比較表現で方向詞 *a'e* が用いられると指摘しているが、他の方向詞については言及していない。

(H4) I kona hua 'ana a
 ~に それの 実がなる **名詞** そして
mahuahua a'e,...
 大きくなる **方向詞**
 'それに実がなって、より大きくなった時'
 (Ka Ho'oilina Sep. 2002:174)

今回の分析の結果、*a'e* と同様に、他の三つの方向詞についても、比較表現に用いられているデータが得られた。

方向詞 *aku* は、例文 (H5) のように、方向詞 *a'e* と同じくらいの頻度で用いられる。

(H5) Ina i nui ka eha, alaila,
 もし **時制/相** 大きい **冠詞** 傷 その時は
nui aku ka uku, ...
 大きい **方向詞** **冠詞** 罰金
 'もし傷が大きいようなことがあれば、罰金はより大きくなる' (Hawaiian Laws:105)

頻度数は落ちるものの、他の二つの方向詞 *mai* と *iho* も、それぞれ例文 (H6)、(H7) のように、A<B の比較の表現で用いられる。

(H6) ... aole paha e emi mai ka nui
否定 多分 **時制/相** 少ない **方向詞** **冠詞** 数
o na umeke poi malalo iho
 ~の **冠詞** ボール ポイ ~の下 **方向詞**
o na 20 tausani, ...
 ~の **冠詞** 千
 'ポイ(タロイモのもち)のボールの数は多分2万より少なくはない。' (Kepelino: 151)

(H7) Ua nui no nae ka
時制/相 大きい **強調** しかし **冠詞**
bufalo, uuku iho ka bipi.
 バッファロー 小さい **方向詞** **冠詞** 牛
 'しかしながら、バッファローは実に大きく、牛はより小さい。' (Mookini:45)

上記はいずれも比較級に相当する意味を表す比較表現に方向詞が用いられている例である。最上級に相当する意味を表す比較表現は、方向詞ではなく、例文(H8)のように loa 「とても、非常に」を付加して表わされる。

- (H8) Hale kū'ai alaka'i o nā kumu kū'ai
店 先頭 ~の **冠詞** 値段
ha'aha'a loa
低い とても
'最安値の先頭の店' (Ka Ho'oilina 2003:116)

2. 3 サモア語の方向詞と比較表現

2. 3. 1 sili や aupito による比較表現

サモア語の場合には、ハワイ語やタヒチ語とはかなり事情が異なる。サモア語では、方向詞を用いない比較表現の頻度がとても高い。Churchward は⁽⁸⁾、英語の比較級や最上級に相当する表現の例として動詞 sili 「優る」を用いた表現を、また、英語の最上級に相当する表現として、小辞 aupito 「一番～な」を用いた表現を挙げているが、方向詞との関連への言及はなく、また、方向詞を含む例もあげていない。実際、今回分析したデータでは、方向詞を伴わずに sili や aupito を用いた比較表現が多数見られた。

sili は単独では、例文 (S1) のように「最高の」という意味で用いられるが、連結辞 ona で他の動詞と共に用いることにより、「より～な」、或いは「最も～な」の意味を表す。

- (S1) le alii **sili** o Fagaloa.
冠詞 酋長 優る ~の F.
'Fagaloa の最高位の酋長' (Sio:88)

- (S2) ... se faiga e **sili** ona lelei
冠詞 仕方 **不定時制** 優る **連結** 良い
e mafai ona faatino ai ana
時制/相 できる **連結** 実行する **照応** それの
taualumaga uma.
進展 全ての
'...全ての進展を実行できるような最良の仕方'
(Tulafono:8)

例文 (S2) のように比較の対象が明示されなければ「最も～な」のような解釈になるが、比較の対象を示して「X よりも～な」のような二者の比較を表すこともある。その際の比較の対象は、i (lo) ~ 「～よりも」 {正書法によっては i (lo) ~ と表記する場合もあるが、本稿では原典の表記に従う} で表す。

- (S3) e **sili i lo** le afa o sea
時制/相 優る ~より **冠詞** 半分 ~の 株
na tuuina atu,...
完了 発行する **方向詞**

'発行した株の半分以上である' (Pule:236)

aupito は、例文(S4)のように、動詞の前に前接して「一番～な」の意味を表わす。例文(S5)のように、前述の sili の前に aupito が付く例もある。

- (S4) Sa o le ulugalii o Sa ma
過去 行く **冠詞** 夫婦 **中性格** Sa ~と
Vai'i le motu aupito tele i
Vai'i **冠詞** 島 一番～な 大きい ~に
sisifo ma nonofo ai.
西 そして 住む **照応**
'Sa と Vai'i という夫婦が西の一番大きな島に行き、そこに住んだ' (Sio:30)
- (S5) Sa o le ulugalii o U ma Polu
過去 行く **冠詞** 夫婦 **固有名詞** U ~と Polu
i le motu e aupito sili
~に **冠詞** 島 **時制/相** 一番～な 最高の
ona lafulemu e pito i Savaii
連結 肥沃な **時制/相** 隣接する ~に Savai'i
ma nonofo ai.
そして 住む **照応**
'U と Polu という夫婦が Savai'i 島に隣接する最も肥沃な島に行き、そこに住んだ' (Sio:30)

2. 3. 2 sili と方向詞の共起

前節で見たように、サモア語の比較表現では、それ自体に比較の意味を含む単語 sili や aupito 及び比較の対照を表す i (lo) ~ 「～よりも」 {正書法によっては i (lo) ~ と表記される場合もあるが、本稿では原典の表記に従う} が多用されるため、比較表現における方向詞の重要性はハワイ語やタヒチ語よりはやや低いと考えられる。方向詞は副詞的に動詞の後ろに付加されるものであるため、動詞に前接される小辞 aupito には付加されないが、動詞 sili との共起についても、今回分析したデータのうち、Sio(1984)と Hovdhaugen(1987)では sili や aupito を用いた比較表現で方向詞が共起する例は見つからなかった。しかしながら、今回入手できた政府関係の各種出版物には例文 (S6) のように sili と方向詞が共起する例が多数見つかった。

- (S6) e **sili atu i** le afa
時制/相 優る **方向詞** ~よりも **冠詞** 半分
o sea na tuuina atu e le
~の 株 **完了** 発行する **方向詞** **行為者** **冠詞**
kamupani
会社
'会社が発行した株式の半分以上である'
(Teuteuga: 236)

今回分析したデータ中で sili と方向詞が共起した例の圧倒的多数が方向詞 atu (基本的な意味は「話者から離れる方向に」) と共起する例である。例えば、Tulafono では sili が使われた全 41 例中 4 例が

方向詞の付加なし、残り全てに *atu* が付加されていた。*Liasene* でも *sili* が使われた全 7 例中 6 例で方向詞 *atu* が付加されていて、残る一例のみが、例文 (S7) のように、方向詞 *a'e* (基本的な意味は「上方へ」) が付加されていた例である。

(S7) Faamalamalamaina o sala tupe, e
 説明する 固有名詞 罰 お金 時制/相
 le *sili* *ae* i le 10 i moliaga
 否定 優る 方向詞 ~より 冠詞 ~に 罪状
 taitasi
 それぞれ
 'それぞれの罪状において 10(penalty unit)より
 多くない罰金を説明する' (Laisene:21)

2. 3. 3 方向詞のみによる比較表現

サモア語の比較表現は *sili* や *aupito* を用いるものが主であるが、*sili* や *aupito* などを用いず、方向詞のみ付加されるものもある。比較表現に方向詞 *atu* が用いられることは Mosel and Hovdhaugen⁽⁵⁾ が述べている他、Milner⁽⁶⁾ にも *atu* が比較表現に用いられるとの指摘があり、以下のような例文も提示されている。

(S8) E toa=lua o=na tuagane e
 時制/相 二人 彼女の 男の兄弟 時制/相
 matuatua *atu* i lo ia.
 年とった 方向詞 ~より 彼女
 '彼女には兄(より年長の男の兄弟)が二人いる'
 (Mosel and Hovdhaugen: 379)

(S9) Na to'atele *atu* ē na 'a'u
 完了 多い 方向詞 ~した人々 完了 出席する
 mai i lō ē na mātou
 方向詞 ~より ~した人々 完了 我々
 aloaloina.
 予期する
 '予期したよりも出席した人が多かった。'
 (Milner:28)

上記の例文 (S8) と (S9) はいずれも、「より年長」、「より多い」のように、むしろ A>B (A は比較表現の主語、B は比較対照) の関係を示す場合である。Mosel and Hovdhaugen⁽⁵⁾ は、例文 (S10) のように、逆に A<B の比較で *atu* が使われるような例も提示している。

(S10) ...sa i ai isi fale e
 過去 存在する 他の 家 時制/相
 laititi *atu*
 小さい 方向詞
 '他のより小さい家があった'
 (Mosel and Hovdhaugen 379)

このように、方向詞 *atu* はいろいろな比較表現で広く用いられている方向詞だということがわかる。

上記の先行研究では *atu* 以外の方向詞が比較表現で用いられる事例については明言されていない。しかしながら、今回の分析の結果、四つの主な方向詞全てが比較表現の中で用いられているデータが得られた。実際には、方向詞 *atu* に比べると、残り三つの方向詞が比較表現で用いられるのは、限定的で、かつ頻度も少ない。方向詞 *a'e* については既に 2.3.2 節で *sili* と共起して比較表現に用いられることを示した。

残り二つの方向詞 *ifo* (基本的な意味は「下方へ」) 及び *mai* (基本的な意味は「話者の方向へ」) が用いられる例は、例文 (S11)、(S12) のように、A<B の比較の表現の例である。

(S11) ... e le ititi ifo i lo
 時制/相 否定 少ない 方向詞 ~より
 le sefulu ma le fa aso
 冠詞 十 と 冠詞 四日
 '14日よりも少なくはない' (Tulafono:15)

(S12) ...sainia e le ititi mai
 サインする 時制/相 否定 少ない 方向詞
 i lo le tagata e toatasi
 ~より 冠詞 人 時制/相 一人
 '一人の人よりも少なくない数 (=少なくとも一人) でサインされた'
 (Tulafono:24)

3 結び

3. 1 動詞による比較表現

タヒチ語、ハワイ語、サモア語のいずれもそれ自体に比較の意味を含む動詞を用いた比較表現が存在する。これらの動詞は単独でも用いられる他、方向詞を伴って用いられることもある。表 3 として、各言語の比較表現を作る動詞と、今回の分析で、それらの動詞と共起している例が得られた方向詞の一覧を示す。

表 3 比較表現の動詞と共起する方向詞

	比較表現の動詞	共起する方向詞
タヒチ語	Hau 「卓越する」	<i>atu a'e</i>
ハワイ語	'Oi 「秀でている」	<i>aku a'e</i>
サモア語	Sili 「優る」	<i>atu a'e</i>

表 3 が示すように、用いられる動詞の意味、共起する方向詞共に、三言語がお互いに対応していることが示された。

3. 2 方向詞のみによる比較表現

先行研究においては、タヒチ語については四つ全ての方向詞が、比較の動詞を伴わず、方向詞のみによる比較表現に用いられるとされていた。一方で、ハワイ語は *a'e*、サモア語は *atu* が比較句表現に用いられるとされ、他の方向詞には言及され

ていなかった。今回の分析の結果、タヒチ語と同様、ハワイ語とサモア語でも四つ全ての方向詞が、比較の動詞を伴わず、方向詞のみによる比較表現で用いられていることが示された。

同様に、タヒチ語だけでなく、ハワイ語でもサモア語でも、四つの方向詞は、その使用の範囲により二つのグループに分類できる。諸々の比較に広く用いられるグループと、A<B の比較を表す場合に用いられるグループとの二つである。それは表4のようにまとめられる。

表4 方向詞の使用範囲

	諸々の比較	A<B の比較
タヒチ語	atu a'e	mai iho
ハワイ語	aku a'e	mai iho
サモア語	atu a'e	mai ifo

これも上記の表3同様、三つの言語がきれいに対応していることが示された。方向詞の基本的な意味が三つの言語で共通なため、むしろ当然予想される結果である。尚、表4中で諸々の比較に用いられるグループの欄に各二つずつの方向詞については、必ずしも A>B の関係 (A が B より数量的に大きい) を表す場合だけに用いられるわけではない。前述の例文(T10)では a'e が、例文(S10)では atu が、それぞれ A<B の比較を表す比較表現で用いられている。ただ、ハワイ語については方向詞 aku 又は a'e が A<B の比較に用いられている例は得られていない。

比較表現における方向詞の用法についてはどの言語も似通っているが、その使用頻度については若干異なるようである。タヒチ語の場合、例えば、今回タヒチ大統領府 HP から入手した例文のうち、方向詞が「より～な」という比較級に相当する比較表現で用いられている明らかな例として14例得られたが、そのうち12例が方向詞のみによるもの、わずか2例が hau+方向詞によるものと、圧倒的に方向詞のみが主流であるのに対して、ハワイ語では、例えば Ka Ho'oilina の Mar. 2002 号で方向詞 aku が比較表現に用いられた例全12例中、4例が方向詞のみによる比較表現で他8例が 'oi+aku による比較表現と、むしろ 'oi+方向詞のほうがやや優勢であった。また、サモア語においては、比較表現の大多数は動詞 sili+方向詞で表わされ、それに比べて、方向詞のみによる比較表現は少数しか得られなかった。

3. 3 今後の課題

方向詞の用法には、比較表現と密接に関係した別の用法として、「更にもう一つ、さらに加えて」のような意味を表す追加の表現がある。このような表現にも、方向詞 atu や aku、或いは a'e がしばしば用いられる。例えば、ハワイ語では例文(9)のように、方向詞 aku が追加表現に用いられている

例がある。

(H9) No nā nīnau hou aku
 ～のために **冠詞** 質問 再び **方向詞**
 e pili ana no kēia mau 'āina, e
 ～について この **複数** 土地 **命令**
 ui aku iā C. J. McCARTHY.
 尋ねる **方向詞** ～に
 'この土地について更にまた質問があれば、
 C.J. McCARTHY に問い合わせください'
 (Ka Ho'oilina 2003:104)

これと似たような例としてタヒチ語の atu も、例文(T11)のように、追加表現に用いられることがある。

(T11) te tahi atu mau ta'ata pēni hōhō'a
冠詞 或る **方向詞** **複数** 画家
 '更に別の画家達' (Musée: 6)

また、名詞の後に付けて「～など」のように、同様のものが更に他にもあることを示す表現として、タヒチ語には te vai atura 「～など」、ハワイ語にも a pēlā aku 「～など」があるが、それぞれ、方向詞 atu (ハワイ語は aku) が使われている。

これらの用法は、意味的にも比較表現と関連すると思われる。特に、例文(T7)で示されるような、方向詞 atu で「更により～な」という意味を表わす比較表現は、追加表現との関連性を示唆するものである。追加表現についても分析を更に進め、今回の比較表現の分析と併せて、比較表現と追加表現の根底にある方向詞の意味について更なる考察へと結び付けたい。

謝辞

この研究は平成17年度～18年度文部省科学研究費補助金基盤研究(C)(一般)「ポリネシア諸語における四つの方向詞の意味・機能に関する対照研究」(課題番号17520247)による研究成果の一部を拡張したものである。

文献

(1) 塩谷亨, ポリネシア諸語における四つの方向詞の意味・機能に関する対照研究(科学研究費補助金研究成果報告書), 室蘭工業大学, (2007)

- (2) Krupa, Viktor, The Polynesian Languages, London: Routledge & Kegan Paul, (1982)
- (3) Cook, Kenneth W., The Temporal use of Hawaiian directional particles, The Construal Space in Language and Thought, Cognitive Linguistics Research 8, (1996) p.455-466
- (4) Académie tahitienne, Grammaire de la langue tahitienne, Papeete: Fare Vana'a, (1986)
- (5) Mosel, Ulrike and Even Hovdhaugen, Samoan Reference Grammar, Oslo: Scandinavian University Press, (1992)
- (6) Milner, George B., Samoan Dictionary, London: Oxford University Press, (1966)
- (7) Elbert, Samuel H. and Pukui M. Kawena, Hawaiian Grammar, Honolulu: University of Hawaii Press, (1979)
- (8) Churchward, Spencer, A Samoan Grammar, 2nd. edition, Melbourne: Spectator Publishing Co., (1951)

その他の分析データ原典一覧

(サモア語)

- Hovdhaugen, Even, From the Land of Nāfanua, Oslo: Norwegian University Press, (1987)
- Sio, Gatoloaifaana P. S., Tapasā o Folauga i Aso Afā, U.S.P. Centere, Samoa, (1984)
- Laisene o Pisinisi, the Legislative Assembly, Samoa, (1998)
- Pule ma Tulaga Aloa'ia o le Fono Aoaio Faitulafono, the Legislative Department, Samoa, (1998)
- Teuteuga o le Tulafono o Kampani, the Legislative Assembly, Samoa, (2006)
- Tulafono:Tulafono Tumau A Le Palemene O Samoa, the Legislative Assembly, Samoa, (2006)

(タヒチ語)

- Académie tahitienne, Dictionnaire tahitienne - français, Papeete: Fare Vana'a, (1999)
- Favre, Jean-François et al, Legendes polynesiennes, Papeete: Editions Haere Po, (2000)
- Musée de Tahiti et des îles, Tahiti 1842-1848, Musée de Tahiti et des îles, (2001)

(ハワイ語)

- Beckwith, Martha W., The Hawaiian romance of Laieikawai, U.S. Bureau of American Ethnology, Thirty-third annual report, 2850677, Washington D.C., (1911-1912)
- Beckwith, Martha W. Kepelino's tradition of Hawaii, Bernice P. Bishop Museum Bulletin 95, New York, Kraus Reprint, (1932)
- Hawaiian laws 1841-1842, reprinted by Ted Adameck, (1994)
- Ka Ho'oilina, Journal of Hawaiian Language Sources, Honolulu: University of Hawaii Press, (2002-2005)
- Nupepa Kuokoa, Hawaiian language newspaper.
- Malo, Davida, Ka moololo Hawaii, Honolulu: The folk Press, (1987)
- Mookini, Esther T., O na holoholona wawae eha o ka Lama Hawaii, Honolulu,: Bamboo Ridge Press, (1985)